

『大内宿』（南会津郡下郷町）

大内宿は「伝統的建造物群保存地区」に指定されており、江戸時代を今に遺す奇跡のような町並みと情緒あふれる茅葺きの建物が並んだ旧宿場町です。江戸時代に会津若松城下と日光神領地今市宿を結ぶ下野街道の宿場町として整備されました。明治以降は鉄道や国道が大きく迂回したおかげで、昔ながらの景観が今に残り、四季を通して、昔と変わらぬ人びとの暮らしが息づいています。

下野街道は会津西街道とも呼ばれ、今もその一部には石畳の道が残っており、いにしへの往来に思いを馳せることができる古道です。初代会津藩主の保科正之によって整備されました。これ以前には、天正18年（1590年）伊達正宗の小田原参陣や豊臣秀吉の奥州仕置きの際りに大内宿を通行した記録があります。

株主の
皆様へ



【個人投資家の皆様へ】

詳しくはホームページをご覧ください。



ふくしまから
はじめよう。



第49期

株主通信

平成28年
秋号

平成27年10月1日から
平成28年9月30日まで



株式会社アサカ理研

Top Message

代表取締役社長 **山田 慶太**



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成28年9月期における当社の事業概況、および今後の見通しについてご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、政府および日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益の改善や設備投資の増加がみられるものの、個人消費は力強さを欠く状況で推移しました。また、世界経済は、成長減速や地政学的リスクの高まりなどの影響により、不透明な状況で推移しました。

当社の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンや自動車向けの需要により堅調な生産動向となっております。

また、主力製品である金の価格は、米国の金融緩和縮小の影響により、前期を下回る水準となりましたが、底堅く推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、いわき工場における、レアメタル・レアアースリサイクル事業およびマ

レーシア子会社での貴金属事業の立ち上げに取り組んでまいりました。いわき工場においては、これまで研究開発の機能が中心でしたが、1月に製品を初出荷し、工場としての操業を開始しました。マレーシア子会社においては、従前のスクラップの転売から、貴金属等の回収へと事業転換が進み、黒字転換しております。また、既存事業についても、製造工程の自動化等によるさらなる効率化やコスト削減に注力し、グループ全体として、企業体質の強化に取り組んでまいりました。

海外子会社の黒字転換といわき工場の操業開始は、継続したチャレンジの成果です。これらに満足することなく、さらなる成長のためにチャレンジを続けてまいります。いわき工場においては、レアメタルスクラップに含まれるレアメタルの回収技術開発を、福島県の補助金を活用しつつ実施し、新たな技術開発へ挑戦し、事業の基盤強化を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当連結会計年度の概況

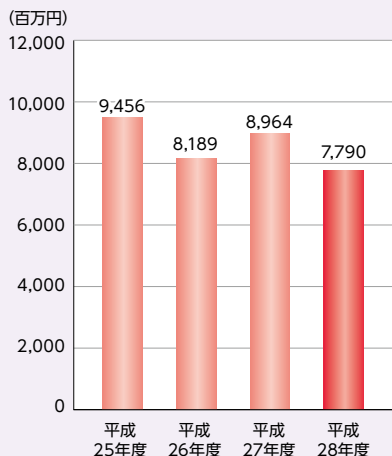
【当連結会計年度は減収増益】

当連結会計年度は、主力製品の金の取扱数量は前期を上回ったものの、受託加工取引の割合上昇により製品の販売数量は減少しました。貴金属の販売価格も前期を下回ったことから、売上高は7,790百万円（前期比13.1%減）となりました。利益面では、環境事業において銅の販売価格の下落や製品の販売数量の減少もありましたが、全社的なコスト削減、マレーシア子会社の黒字転換により、営業利益は224百万円（前期比6.3%増）となり、経常利益は189百万円（前期比2.1%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益へ補助金収入104百万円を計上したことから227百万円（前期比81.0%増）となりました。

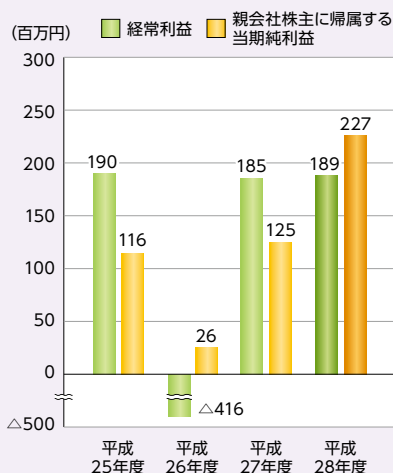
【今後も当社は、企業体質の強化を図ってまいります。】

当社は、レアメタル・レアアースリサイクル事業及びマレーシア子会社で貴金属事業を拡大するとともに、既存事業においては、製造工程の自動化等により、さらなる効率化やコスト削減を継続してまいります。また、『平成28年度 福島イノベーション・コースト構想 地域復興実用化開発等促進事業（一次公募）』を活用した、レアメタルリサイクル実証事業への投資により、さらなる企業体質の強化を図ってまいります。

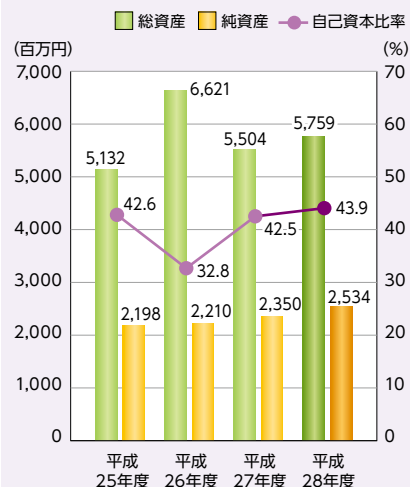
■ 売上高



■ 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益



■ 総資産、純資産、自己資本比率



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

（単位：百万円）

	当 期 (平成28年9月30日)	前 期 (平成27年9月30日)		当 期 (平成28年9月30日)	前 期 (平成27年9月30日)
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債	1,678	1,558
現金及び預金	1,328	1,231	固定負債	1,546	1,595
受取手形及び売掛金	315	314	負債合計	3,225	3,154
棚卸資産 ①	840	659	純資産の部		
その他	248	187	株主資本		
固定資産			資本金	504	504
有形固定資産	2,733	2,829	資本剰余金	352	351
無形固定資産	23	23	利益剰余金	1,685	1,496
投資その他の資産	270	258	自己株式	△ 13	△ 16
資産合計	5,759	5,504	その他の包括利益累計額	△ 2	4
			新株予約権	2	3
			非支配株主持分	5	6
			純資産合計	2,534	2,350
			負債純資産合計	5,759	5,504

Point ①

流動資産のうち、貴金属セグメントの新たな事業により、棚卸資産が181百万円増加しました。

Point ②

特別利益は、福島県いわき市からの補助金収入104百万円です。

Point ③

主な収入要因は、税金等調整前当期純利益が279百万円、減価償却費が218百万円です。
主な支出要因は、棚卸資産の増加額が189百万円、特別利益として計上した補助金収入が104百万円です。

Point ④

主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出が186百万円です。
主な収入要因は、補助金の受取額が66百万円です。

Point ⑤

主な収入要因は、短期借入金の純増額が276百万円です。
主な支出要因として、社債の償還が210百万円です。

事業セグメントごとの状況

■ 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期 (平成27年10月1日～ 平成28年9月30日)	前期 (平成26年10月1日～ 平成27年9月30日)
売上高	7,790	8,964
売上原価	6,347	7,495
売上総利益	1,443	1,469
販売費及び一般管理費	1,219	1,258
営業利益	224	210
営業外収益合計	40	19
営業外費用合計	74	44
経常利益	189	185
特別利益合計 ②	104	23
特別損失合計	14	4
税金等調整前当期純利益	279	204
法人税等合計	56	99
当期純利益	222	105
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 4	△ 20
親会社株主に帰属する当期純利益	227	125

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

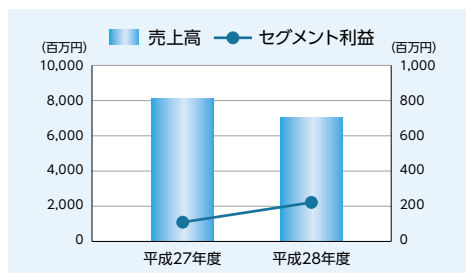
（単位：百万円）

	当期 (平成27年10月1日～ 平成28年9月30日)	前期 (平成26年10月1日～ 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	178	535
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 142	284
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	70	△ 1,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	96	△ 533
現金及び現金同等物の期首残高	639	1,172
現金及び現金同等物の期末残高	736	639

貴金属事業

主力製品の金の取扱数量は前期を上回ったものの、受託加工取引の割合上昇により製品の販売数量は減少しました。貴金属の販売価格も前期を下回ったことから、売上高は7,042百万円（前期比13.4%減）となりました。

セグメント利益は、製造の効率化によるコスト削減等やマレーシア子会社の黒字転換によって、212百万円（前期比93.9%増）となりました。

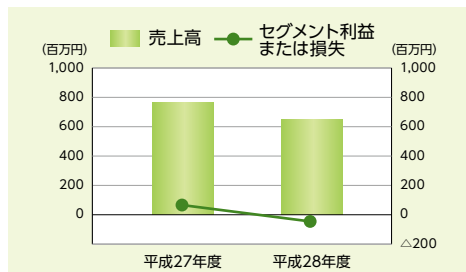


環境事業

主力製品の電子回路基板向けエッチング液および銅ペレットの販売数量は、国内の電子回路基板の生産数量が減少する中、前年並みを確保しました。

しかし、銅相場下落により銅ペレットの販売価格が前期を下回ったこと、前期発生した商品のスポット販売の反動もあり、売上高は、648百万円（前期比15.2%減）となりました。

セグメント損失は、売上高の減少により、44百万円（前期は68百万円の利益）となりました。



レアメタルリサイクル実証事業への投資を行います。

当社は、平成26年8月から、いわき工場生産技術開発センター（いわき市泉町黒須野）において、光学ガラスを原料としたレアメタル・レアアース回収の実証実験を行い、この知見を元に、平成28年1月よりレアメタルの回収および材料販売事業を開始しております。平成28年9月に、同工場において、レアメタル含有スクラップに含まれるレアメタルの回収技術開発のための投資計画を決定しました。

本事業は「平成28年度 福島イノベーション・コースト構想 地域復興実用化開発等促進事業（一次公募）」に採択されており、いわき工場において、当社が福島県からの補助金の採択を受けるのは、「平成25年度 第3次ふくしま産業復興企業立地補助金」の採択に次いで2例目になります。



「地球上の存在量が稀であるか、技術的・経済的な理由で抽出困難な金属のうち、安定供給の確保が政策的に重要」な非鉄金属（経済産業省による定義）。31鉱種。

レアアース

31鉱種あるレアメタルの一種で、17種類の希土類元素の総称。セリウム [Ce]、ランタン [La] など。



日本産業界が牽引する高付加価値・高機能製品には、一般にレアメタルに分類される元素が多種使用されています。例えば、超硬工具では高硬度を実現するためにタングステンが使用され、また、航空エンジンや発電所のタービンには高耐熱性を付与するためにレニウムやタantal、タングステン等が添加されています。特に航空機産業等の分野においては、今後ともレアメタル需要が増加すると見込まれます。

リサイクルの見地からこれら製品のマテリアルフローを見渡すと、必ずしもレアメタルの国内でのリサイクルが十分になされていない点が課題となっています。これを、当社がこれまで培ってきた金属の抽出・精製技術を応用することで、レアメタルリサイクルの課題を解決し、資源の国内循環に貢献することを目的としています。

技術の実験室レベルでの試験を完了しており、本件の実証、事業化を推進することで、回収率の向上、処理コストの低減効果に加え、環境負荷の軽減を目指します。



Information

(平成28年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	昭和44年8月25日
資本金	504,295,600円

事業内容

- ①貴金属事業 / 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理および販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生および販売
- ②環境事業 / 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売、水処理事業、光触媒事業
- ③その他の事業 / 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発および販売、工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役員

(平成28年12月16日現在)

代表取締役社長	山田 慶太
取締役	佐久間幸雄
取締役兼執行役員	佐久間良一
取締役兼執行役員	山田 浩太
取締役(監査等委員長)	野納 敏展
取締役(監査等委員)	熊谷 巧
取締役(監査等委員)	三崎 秀央

(注)取締役(監査等委員)熊谷巧氏および三崎秀央氏は、社外取締役であります。

株式の状況

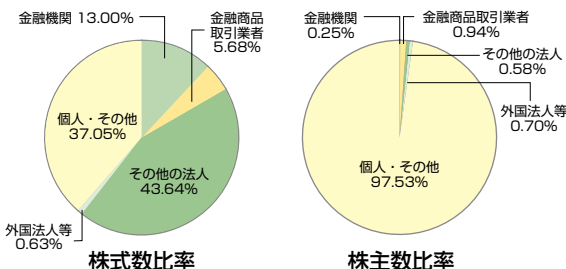
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式24,908株を含む)
株主数	2,435名

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	711,530	27.93
株式会社M&F	339,500	13.33
株式会社常陽銀行	90,000	3.53
株式会社東邦銀行	81,100	3.18
日本生命保険相互会社	72,500	2.85
第一生命保険株式会社	50,000	1.96
東京中小企業投資育成株式会社	50,000	1.96
白岩 政一	42,200	1.66
株式会社SBI証券	35,300	1.39
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	28,500	1.12

(注) 当社は自己株式(24,908株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(24,908株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日	同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-49-7009(通話料無料)
定時株主総会	毎月12月	上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-7111(通話料無料)		

ご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大内宿雪まつり

大内宿雪まつりは、例年2月の第2土・日に開催されます。宿場中央の下野街道沿いに並ぶ雪灯籠で知られております。土曜日には、日本一の団子さし、具止餅拾い、「郷人」よさこい、三志神楽、ボタ引き競争、きき酒大会、御神火載火・花火大会が開催され、日曜日には、わらじ履き綱引き大会、大川溪流太鼓演奏、そば喰い競争、時代風俗仮装大会など多彩な催しがあり、観光客と地元の人びとの楽しい交歓の場になります。

詳しくは、次の観光 | ■下郷町観光協会 <http://shimogo.jp/>
サイトをご覧ください。 | ■大内宿観光協会 <http://ouchi-juku.com/>

福島の旅が丸わかり!! で検索

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）
TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087